

大分工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	中国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	R02S511		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	情報工学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	陳 淑梅・劉 光赤著, わくわくスタディ 実学実用 初級中国語 ライト版, 朝日出版社. / 『中日辞典』, 『日中辞典』, 小学館出版.				
担当教員	兒玉 ウェンユウ				
到達目標					
(1) 中国語の補語などの基本文法が正確に把握できるようになる。(定期試験) (2) 基本的な文法を理解し, 簡単な日常会話ができるようになる。(定期試験) (3) 中国語のイントネーションを身につけ, 中国語でのコミュニケーション能力が高くなる。(定期試験)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	中国語の補語などの基本文法が正確に把握できるようになる.		中国語の補語などの基本文法が概ね把握できるようになる.		中国語の補語などの基本文法が把握できない.
評価項目2	基本的な文法を理解し, 簡単な日常会話が難なくできるようになる.		基本的な文法を理解し, おおよそ簡単な日常会話ができるようになる.		基本的な文法を理解し, 簡単な日常会話ができない.
評価項目3	中国語のイントネーションを身につけ, 中国語でのコミュニケーション能力が格段に高くなる.		中国語のイントネーションを身につけ, 中国語でのコミュニケーション能力が概ね高くなる.		中国語のイントネーションが身につかず, 中国語でのコミュニケーション能力が高くない.
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (C2) JABEE 1(2)(f)					
教育方法等					
概要	(授業の概要) 中国語は, 中華人民共和国, 台湾, シンガポールの公用語であるほか, 世界各国にいる華僑や華人たちの間でも話されている. 中国語を母語とする人は約12億人, また第二言語とする人も約2億人いるといわれており, 世界最大の母語話者人口を有する. 中国語は国際連合における公用語の一つでもある. 中国大陸では, 中国語のことを主に「中文」や「」と呼ぶ. 「中文」は学術的な用語としてもよく使われる. 他に地方では, 「國語」, 「華語」, 「中國話」などとも言う呼び方もある. 中国では, 北方語の発音や語彙と近代口語小説の文法を基に作られた「普通話」(pǔtōnghuà) が教育現場や放送現場で取り入れられ, 標準語・共通語として使われている. 一般的に, 全人口の7割程度が普通話を理解するといわれ, 方言話者の若い世代は普通話とのバイリンガルとなっていることが多い. 中国語Ⅱでは, 実用性の高い会話を練習して, 中国語の基礎文法の習得を目指す. 更に, 中国に対する関心や興味を持たせ, これからの多文化共生の社会の中で未来の技術者が中国語をスキルの一つとして活かせる授業を考えている. (教育プログラム) 第2学年 ◇科目 (授業時間) 23.25時間				
授業の進め方・方法	(授業の進め方) 中国語Ⅱでは, 実用性の高い会話を練習して, 中国語の基礎文法の習得を目指します. 更に, 中国に対する関心や興味を持たせ, これからの多文化共生の社会の中で未来の技術者がスキルの一つとして活かせる授業を考えています. (総合評価) 総合評価 = 2回の定期試験の平均点 (100点満点) で評価します. (再試験) 再試験はありません.				
注意点	(履修上の注意) 授業後の復習は, 必ず行うこと. (自学上の注意) CDを活用することを勧めます.				
評価					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	前期内容に関する総合復習.	
		2週	第 1 1 課	動詞「在」などが使えるようになる.	
		3週	第 1 2 課	年月日・曜日などが表現できるようになる.	
		4週	第 1 3 課	時刻の言い方などが表現できるようになる.	
		5週	第 1 4 課	比較の言い方などが表現できるようになる.	
		6週	第 1 5 課	方向補語などが表現できるようになる.	
		7週	第 1 6 課	結果補語などが表現できるようになる.	
		8週	応用練習	口頭練習とリスニング練習.	
	4thQ	9週	後期中間試験		
		10週	後期中間試験の解答と解説 + 第 1 7 課	様態補語などが表現できるようになる.	
		11週	第 1 8 課	可能補語などが表現できるようになる.	
		12週	第 1 9 課	使役表現などが使えるようになる.	
		13週	第 2 0 課	受身表現などが使えるようになる.	

		14週	応用練習	口頭練習とリスニング練習.				
		15週	後期末試験					
		16週	後期末試験の解答と解説					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	